



大盛況だった北海道ホルスタイン共進会場



前田会長と最高位賞の木村吉里さん

また、贊助会費の改正について、昭和60年4月に贊助会員を制定以降変更していなかった1口3万円の贊助団体会員の会

種とジャージー種の合計386頭の出品があり、10年ぶりの全共が盛大に開催された。最高位には北海道遠軽町の木村吉里さん出品牛が輝いたが、都府県出品牛も5つの部で優等賞一席を獲得し、28頭が優等賞入賞を果たす等、好成績を収めた。全国から27の高校出品と、その中から高校日本一を決める「ハイスクール・デイリー・グランプリ」では、京都府立農芸高校出品牛と群馬県立吾妻中央高校出品牛がそれぞれ経産牛、未経産牛グランプリに輝いたほか、後継者育成プログラムのリードマンコンテストでも大勢の高校生が参加して好評だった。これらの審査風景はインターネット上で同時配信されたり、行事も併催して、会期中に約3万3千人が来場して賑わった。

このほかの報告では、①令和7年度地区別登録委員研修会並びに登録事務担当者会議を都府県6ブロックで開催し、「新たな家畜改良増殖目標」と「疾病抵抗性指數」に関する講演や登録事故の解消、牛の見方の研修等を行った、②乳用牛改良推進協議会に参画して、2025年度乳用牛改良推進実施計画策定と疾病抵抗性の評価開始に協力し、③9月にハンガリーで開催された世界ホルス

評価速報値をWeb提供する等、スマートフォンやパソコンでの情報検索の拡充に努めた。また、JRA畜産振興事業「乳用牛ゲノミック選抜の推進事業」は3年間事業の最終年度で、推進委員会の開催と全国7道県（北海道、福島県、千葉県、長野県、鳥取県、岡山県、熊本県）の農業共済組合から疾病診療データの提供を得て、遺伝分析と疾病抵抗性指數の開発と同指數のNTP組込みの試作を行った。

世界ホルスタイン会議を開催して、最新情報の共用形質の整備4年毎に

日本ホル協は11月17日、第3332回理事会を開催し、令和7年度中間事業並びに中間決算、第16回全日本ホルスターイン共進会の報告と、来年6月の任期満了に伴う役員改選について地域別役員定数と改選までのスケジュール、賛助団体会費の改正等を審議し、すべての事項について原案どおり承認された。

第16回全共大成功を報告

日赤協第3332回理事會開く

遺伝的不良形質等を議論

ハンガリーでWHFF評議員会



協議事項では、来年6月の役員改選に伴う地域別役員定数と改選までのスケジュールについて協議を行った。地域別役員定数は現在と同じく北海道2、東北3、関東3、北陸1、中部2、近畿1、中国2、四国1、九州3、学識経験者1の計19名とすることで承認された。			
EX更新牛（令和7年10～11月 都府県受検牛より）			
名号 (県名/酪農家氏名)	産次	得点	年齢
センターリバーデュヨー アンエロー (青森県 阿部 亨)	8	90-2E	10-00
ファイティーストーム ソロモン テツ B フタゴ (山形県 高橋 実)	6	91-3E	08-01
ハイブリッジ ハディー ドリーム (山形県 高橋 実)	9	90-4E	10-05
JH フィヅシャー モントレー (福井県 稲津 智沙都)	5	90-2E	06-03
マウス アルタディクリー フエリス (山梨県 (株) 山口牧場)	9	92-6E	11-00
マウス モントレー スレット オフ (山梨県 (株) 山口牧場)	5	90-2E	06-08
ラビットホール シータ アフロ (岐阜県 宮垣 俊介)	4	91-2E	06-05
カットアーム ジョージア トランパス (岐阜県 渡辺 修一郎)	5	90-3E	06-08
WRエリート アマン フーキー 3 ET (鳥取県 隅山 光彦)	6	91-2E	07-06
ハビターフォーリー ビクトリア ベトロン (岡山県 (有) 長恒牧場)	7	90-4E	08-06
ヒールクリスト コスモボーリス ローヤリスト (岡山県 妹尾 優佳)	5	92-2E	06-02
SW ベントレー ドミトリー ¹ (愛媛県 和氣 啓介)	6	91-2E	07-04
けバ シルバー ラパンソフター ² (愛媛県 稲葉ビレッジファーム (有))	5	91-2E	06-11
けバ トップシー Wコート ³ (愛媛県 稲葉ビレッジファーム (有))	6	90-2E	09-02
ホットリバー セジス ピンヘル メイフラー ⁴ (愛媛県 入船 篤志)	5	90-3E	07-06
サンバレー サクセス ソフィア リシア ※ジヤージ種 (秋田県 土田牧場)	6	90-2E	08-05

ホルスタイン手帳 販売中	
氏名	2026年版
1300円(送料・消費税込)	(一社)日本ホルスタイン登録協会
電話03(3383)2501	

リード WHFF 評議員会	
情報提供求める	有と各国登録協会の交流等を図っている。評議員は欧州5名、北米2名、中南米・アフリカ1名、アジア1名、オセアニア5名で構成され、年1回の対面会議と数回のWe b会議が開催されている。また、次回世界会議は令和10年1月にオーストリアでの開催が決定している。
BLIRDに関する	に各ワーキンググループ (WG) から報告が行われた。体型審査WGからは、昨年評価基準が改正された線形形質「肋の構造」のデータ収集に関して、できるだけ早い時期に新基準によるデータに切り替えるよう会員各国の周知を要望。また、世界体型審査ワーキンググループ(国際的な審査自合わせ)を来年4月にハンガリーデ開催する旨報告があつた。
遺伝形質・登録WGか	らは、主に欧州で発現しているBLIRD(牛リンパ球腸内滞留不全症)は、世界的に出現頻度が低く、論文報告等が少なくて、できるだけ早い時期に新基準によるデータに切り替えるよう会員各国の周知を要望。また、世界体型審査ワーキンググループ(国際的な審査自合わせ)を来年4月にハンガリーデ開催する旨報告があつた。
泌乳能力に関するデー	このほか、15か国からのホルスタイン牛の遺伝的多様性に関する分析の結果報告や乳牛交雑種の肉利用の有効性、イタリアで開始された地球規模でのメタン遺伝学プロジェクトの概要等が報告された。
利活用の作業部会から	は高度な遺伝学と飼養術、牛の健康面への配慮効果の証である登録と体型審査を実施し、登録と体型審査との相乗効果の証である登録と体型審査を実に実施し、さらにハイブリード・ゲノミクス・種プログラムによる優秀な種雄牛の選定・交配によって生涯生産性の向上と最大限の快適性を提供することを目指して
首都近郊で大規模経営	地でジャガイモと家畜の飼料会社と提携して2500ヘクタールの地でジャガイモと家畜の飼料を生産し販売するとともに、ドイツでは別の機関から収集されればならないデータの所有権について、より深い議論が必要であり、継続して協議していくことになつた。
牛の健康と快適性重視	ICARがロボット搾乳データを公式に認めていることや乳成分データは別の機関から収集されればならないことについて、より深い議論が必要であり、継続して協議していくことになつた。
評議員会の初日には、	地でジャガイモと家畜の飼料を生産し販売するとともに、ドイツでは別の機関から収集されればならないデータの所有権について、より深い議論が必要であり、継続して協議していくことになつた。

吐きとう 家族と生と 豊かな未来



あいおいニッセイ MS&AD INSURANCE GROUP

I'm ZIDAN*についてはこちら
(*24時間365日事故対応サービス)



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 広域法人開発部 営業課
〒103-8250 東京都中央区日本橋 3-5-19 ☎ 050-3460-8162
URL : <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>